

木知原の今昔!

39号: 6・5・17

絵筆こぼれ話!

木知原に**学校**が?!

😊 あったんです! 校名は「**有覚学校**」

♥ 先号「学校変遷」如何でしたか。それぞれの学び舎を懐かしく思い出されたことと思います。
・シリーズのAに学校沿革の中から3話をチョイスしました。
・ご存じの方は少ないかな?

- 木知原には明治6年に新教育制度を取り入れた初の学校「有覚学校」が開校されたのです。
- 📌 旧庄屋家の部屋を間借りしての寺子屋式の学校であった。当時は義務教育ではなかったので入学の強制力は弱くどれだけの生徒が通学したかは分かっていませんが・・・
- 📌 学校は明治8年に神海小学校(金輪寺校舎)と合併するまでの2年間ではあったが初の学校が木知原に開校されたことは**特筆すべき歴史**の一つではないでしょうか。



😊 エッ! 神海小学校に**兵隊**さんが駐屯?



SH 改築: 神海小学校

- 昭和20年頃(第2次世界大戦中)、神海小学校に陸軍兵一個小隊(約50名)が駐屯していたそうである。
- 📌 兵隊は教室で寝泊まりしたので、生徒は教室が足りなくなり2学年が一つの教室『80人ぐらいでギュウギュウ詰めだった』で勉強したとのこと。♥とても勉強どころでは・・・
- 📌 兵隊は大茂山の裾野で主にサツマ芋を栽培していたので

中学生や高学年は水やりや草取りの手伝いに参加したそうである。(当時は小中併設の学校)
♥ 運動場が畑・兵隊がサツマ栽培・学校では「兵隊の手伝・軍事教練・出兵兵士の家事手伝い」と戦時中の「国民学校」ならではの生活であったが、体験者は『当時はそれが普通!』と語っていた。
♥ 特に出兵兵士の家の農作業手伝いは大変喜ばれたので嬉しかった』と語られました。

😊 “見守り続けて**150年**”



- 現外山小学校の校門左脇に写真の木が植えられている。木名は百日紅(サルズベリ)。特に珍しい種類ではないが外山小の百日紅は明治15年(1882)から今日までの約150年間にわたって外山の子どもを見守り続けてきた木であることをご存じでしたか。



- 📌 元学校(神海小)明治15年~昭和10年・54年間
- 📌 神海小(上写真)昭和11年~昭和24年・14年間
- 📌 外山小(前中学)昭和25年~今日……74年間



- 先人は美しく長く咲き続ける百日紅を**子供の成長への願い**と重ね合わせて学校新築時に植樹されたことと思う。それ以降神海小⇒外山小と移植を繰り返して今日に至っている。
- 📌 上写真の○印が神海小学校時の百日紅であるが、写真のように3校とも正門のすぐ左脇に植えられていることにも**こだわり**(日本は伝統的に左上位席)があったのでしょ。
- ♥ 残念ながら現在は中央に見られる親木は朽ちてしまいましたが、ご安心ください**後継ぎ(2代目)**が3本たくましく成長し子ども達を見守り続けていますから。

♥ 今年も花を咲かせてくれそうで安心しましたが、先生方はこの記念樹をご存じないかも? 『もう少し手入れして欲しいな〜。伐採されるかも?』と後ろ髪ひかれる思いで帰ってきました。
♥ 参考! **二宮尊徳像**は当初銅製だったので戦時中に供出されたそうである。戦後になって石像が寄進され今は裏手で寂しく読書! しています。戦争の影は二宮さん迄も・・・でした。